
2020年に向けた多機能トイレマップを作ろう！
～ユニバーサル体験から、これからの情報課題を考える～

NPO 法人 Check、スマホ・タブレットを使った社会貢献イベントを開催

多機能トイレ情報共有サービス「Check A Toilet みんなで作るユニバーサルデザイントイレマップ（<http://www.checkatoilet.com/>）」を運営する特定非営利活動法人 Check（本社：東京都世田谷区、代表理事 金子健二、以下 NPO 法人 Check）は、スマートフォン・タブレットを使った社会貢献イベント「2020年に向けた多機能トイレマップを作ろう！～ユニバーサル体験から、これからの情報課題を考える～」を、国内大手ソフトウェア企業である株式会社 ACCESS（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：室伏伸哉）の社内ボランティアと、2月16日（日）に実施します。

■ スマホ・タブレットを使った社会貢献イベントとは

就業時間後や休日の時間帯を利用して、あまり知られていない障がい者のトイレ問題に関する啓蒙活動、またその問題を日常のなにげない活動で解決することが出来るボランティア活動「Check A Toilet」の存在を知ってもらい、体験してもらおうというイベントです。

今回の活動は3部構成になっており、第1部では「知っているようで知らない高齢者・障がい者と多機能トイレの問題点」というテーマの講演・研修を行い、「Check A Toilet」の必要性・重要性を説明いたします。

第2部では、「2020年に向けたマラソンコース」のトイレチェックを行い、スマートフォン・タブレットを使って多機能トイレの情報を登録します。実際に高齢者・障がい者にとっての「外出先でのトイレに関するバリア」を取り除くことで、「マラソンコースの多機能トイレマップ」を制作・提供することができるものと考えております。

そして、第3部では、ボランティア体験を基に、今後、2020年までに課題になりそうな”情報”を導き出すワークショップを行います。

◇日程：2月16日（日）10:00～14:30

10:00～ 第1部 講演・研修

知っているようで知らない高齢者・障がい者と多機能トイレの問題点

「Check A Toilet for Android」の説明

※講演・研修（代表理事 金子健二）

11:00～ 第2部 実地活動

スマホ／タブレットを使って、マラソンコースの多機能トイレチェック

※例：障がいのある外国人がマラソン観戦をする時に、どんな情報を伝えると親切か？

対象者（外国人／障がいのある外国人など）とシーン別（鉄道利用／食事／マラソン観戦など）を事前に伝え、トイレチェックにのぞみます。

14:00～ 第3部 グループワーク

どのシーンで、誰がどんなことに困るか、考えよう！

◇第1部／第3部 開催場所

株式会社 ACCESS 会議室：東京都千代田区猿楽町 2-8-8 住友不動産猿楽町ビル

◇参加者

- ・株式会社 ACCESS 社内ボランティア
- ・NPO 法人 Check 関係者

※取材ポイント：講習・研修、実地活動、体験後のグループワーク

◇取材のお申込は下記まで、

TEL：080-4162-4550 メール：report@checktoilet.com 担当：金子

特定非営利活動法人 Check

<http://www.check.or.jp/>

代表理事：金子健二

事業体：特定非営利活動法人（NPO 法人）

団体設立：2006年9月1日（法人設立：2008年1月7日）

事業内容：

- (1) トイレマップ制作を通じたの市民活動支援事業
- (2) バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する情報収集及び情報提供事業
- (3) 社会貢献活動に関する普及啓発事業

※記載されている社名・サービス名等は各社の商標および登録商標です。